

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年10月5日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102647		
法人名	株式会社 トゥルーケア		
事業所名	グループホーム メロン	ユニット名	1丁目
所在地	〒311-1113 茨城県水戸市平戸町舟渡380-1		
自己評価作成日	平成24年3月27日	評価結果 市町村受理日	平成24年10月5日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870102647&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年5月16日	評価確定日	平成24年9月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">入居者様の身体や精神的な面での変化を見落とさず、良い状態を保てるように話し合いを重ね、安心して過ごしていただけるような環境作りに努めております。入居者様の個々の尊厳を守り、寄り添い、より良いケアできる様に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>代表者は職員を地域の小学校に派遣して蘇生方法やAEDの使用方法を指導するなど、地域に密着した活動をしている。</p> <p>職員のコミュニケーションが良く凶られ、職員は笑顔で利用者に接しているほか、利用者の尊厳を守り一人ひとりの思いを大切にケアに努めている。</p> <p>猫や犬、ウサギなどの小動物を自宅で飼っている職員が事業所に連れてきて移動動物園を実施するなど、動物が持つ癒しの効果を取り入れている。</p> <p>利用者が職員と一緒に制作したフラワーアレンジの草花は、職員が自宅から持参したり事業所の敷地内の草花を利用しているほか、花器は有る物を利用するなど材料を揃え、楽しめるよう工夫をしている。</p> <p>花木センターに出かけ花や樹木を見物したり、ホームセンターで魚や大きなカメ、子犬、子猫を見て楽しむほか、来客者と触れ合い、利用者が地域の中で今までと同じような生活ができるよう支援している。</p> <p>花木センターでは納入業者が少ない日や比較的来客の少ない時間帯を店舗と打ち合わせ、利用者の安全を確保しながら車椅子使用の利用者も行けるよう配慮している。</p> <p>母体が病院であることと、消防署の支署が近くにあるため利用者や家族等の安心につながっている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着の理念を作り、認知症の入居者様が安心して生活出来る環境作りをし、管理者の下職員一丸なり業務をおこなっています。	設立時に全職員で地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成している。 理念を玄関や各ユニットの居間に掲示しているほか、管理者と職員は職員会議で理念を確認して共有を図り、実践に努めている。 現在の理念は長い文章となっているため、短く分かり易い理念に見直すことを検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアの方々に来設して頂き、定期的に交流会を行っています。(大正琴・フラダンス・手品等)	地域の中学校3校より職場体験実習を受け入れているほか、小学校からは運動会への招待があり、利用者は見物に行くなど、子ども達と接する機会が多い。 地域の文化会館より菊花展覧会や絵画展などの招待を受け鑑賞に出かけたり、文化祭には利用者職員が一緒に制作した貼り絵を出品し、地域の人々と交流している。 散歩の際には近隣住民から声をかけられたり野菜や花のお裾分けがあるなど、利用者は日常的に地域とつながりながら暮らしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々のボランティアの受け入れを行いともに認知症の方の理解を深めています。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の運営推進会議の開催をする事により、皆様よりご意見・要望を受け、出来る限り応えられるように努めています。	運営推進会議は2ヶ月に1回家族等や市職員、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得て開催し、利用者の生活の様子や事業所の運営状況、行事の報告などを行っている。 自治会及び事業所の行事の情報交換を行っているほか、事業所の避難訓練のチラシを自治会長に渡し、近隣住民の避難訓練への参加を依頼したり、過去の地域の災害状況を聞くなどしている。 地域住民から火災や地震など様々な災害を想定した避難訓練実施の提案があり話し合うなど、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険証の更新や運営上で不明な点がある際に、ご相談させていただいております。又、運営推進会議時にも、貴重なご意見を頂戴させていただいております。	管理者は市職員が運営推進会議で来訪した時や電話などで、要介護認定更新や生活保護受給の利用者の不明点を相談したり助言を得ているほか、情報交換するなど連携を図り、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会や研修の実施により、職員一同正しく理解し、身体拘束を行わないケアに努めています。	身体拘束排除に向けたマニュアルを作成しているほか、年1回全職員で研修を実施し記録に残すとともに、職員は身体拘束の内容とその弊害を理解し身体拘束をしないケアに努めている。 管理者は研修会の時だけでなく、日々身体拘束をしないケアの教育を実践し、玄関は日中施錠せず夜間のみ防犯のため施錠している。 身体拘束をする場合に備えて同意書は作成しているが、経過観察記録と検討記録の書式を用意するまでには至っていない。	経過観察記録や検討記録の書式を準備しておくことを提案する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会の実施により、あつてはならない虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について研修を通して、今後学ぶ機会を取り入れたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	納得される様十分な説明をさせて頂き、ご理解いただいた上で署名・捺印を頂いています。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に外部の苦情受付機関に市役所の介護保険課や国保連合会がある事を記載して、契約を行う際にお話させて頂いています。	利用者からは日常の問い合わせや会話の中から、家族等からは来訪時や電話連絡時に意見や要望を聴くよう努めている。 家族等からの意見や要望を受け、地震時における対応マニュアルを作成したり、家族等へ電話をする時間帯を配慮するなど、出た意見等を運営に反映させている。 玄関に意見箱を設置するとともに重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記し、契約時に利用者や家族等に説明している。	家族等からより多くの意見を汲みあげるため家族アンケートを実施し、出た意見等を運営に反映させることを提案する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各ユニットの会議や全体会議等で意見交換が行われ、その結果をホーム長会議を通して本部職員・代表者に伝える事が出来る。	職員アンケートを実施し意見等を汲みあげるよう努めているほか、管理者は日常のケアの中で運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、勤務体制や昼食の弁当持参に関する事、草刈り機の購入など様々な意見や提案を受け、出た意見等を法人に報告し検討している。 職員からAEDの使い方を訓練したいとの提案があり、毎月行う防災訓練に取り入れるなど、職員の意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者・本部職員と事業所のホーム長・管理者が定期的に話し合いの機会があり、職員の勤務状況や個々の相談を伺い、働きやすい環境になるように努めております。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の段階に合わせた研修受講を勧めるだけでなく、数回に分けて全職員が同じ研修を受講するように法人内で計画し実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホーム協議会に加盟している為、年に何回か研修があり、同業者との交流を図り、情報を共有しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前調査等により、ご本人の要望等を傾聴を行い、不安を取り除き、安心して過ごせる関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様からも要望等の傾聴を行い、安心出来る生活が過ごせますよう職員一丸となり取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームでの生活が可能か否か検討し、他のサービスが適していると見極めた時は関係機関・ご家族様と相談させて頂いています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	今何が必要なのかを職員が気づき、力になれる事で一緒に生活を共にする家族のような関係になれるように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行動の変化を伝達し、ご家族様に現状の理解をして頂き、意見の交換を蜜に行うことで、確かな交流が得られる様に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	慣れ親しんだ人との交流はとても意味深い事なので、ご家族様に働きかけ面会に来て頂くよう努めている。	職員は利用者の馴染みの床屋に来訪してもらい継続して利用ができるよう支援をしている。 利用者の友人や知人が面会に来た際には職員は一緒に話をし、再来訪を促したり、利用者が手紙を出す時に代筆するなどの支援をしている。 利用者の希望する場所に職員が同行できない場合は家族等に伝え、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	歌やゲームを通し、孤立する事の無い様努めています。気の合う仲間との会話の架け橋となれるよう心掛ける。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	事業所からご家族様に連絡を取る事はありませんが、相談等を受けた際には、状況に合わせた支援をしていきたいと思っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り要望に応じられる様努めています。『その人らしく』を大切に接しています。	職員は利用者の生活歴を把握するとともに日々の行動や会話、表情から思いや意向の把握に努め、信頼関係を築きながら利用者の意向にそった支援ができるように努めている。 意思疎通が困難な利用者の場合は家族等から話を聞いたり、利用者とのスキンシップにより表情やしぐさなどから思いを汲み取るよう努め、利用者本位に検討している。 職員は日々のケアの中で把握した利用者の情報を申し送りノートに記載しているが、後で見直すことがなく全職員で共有するまでには至っていない。	把握した利用者の情報を全職員が共有できるように記録を工夫することを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査の際、本人・ご家族様より得た情報を理解し、サービス提供の一環としております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方に合った支援の提供を心掛けています。目に見えて変化が表出たりしますが、心からの言葉を掛けをし、明るい生活が出来る支援をしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様が安心して過ごせていただける様にケアについて毎月、ケアカンファレンスを実施しております。職員間で、入居者の心身の状態や生活状況を把握し、ケアを検討し実施しております。	利用者の課題を把握するとともに利用者や家族等の意向を聞き、法人事務局やホーム長、ユニットの管理者、ユニットの職員で会議を行い、利用者や家族等の希望にそった介護計画を作成している。 介護計画に基づいたサービスの実施記録を作成するとともに、実施記録を参考に短期目標は3ヶ月毎、長期目標は6ヶ月毎に見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は随時現状に即した介護計画に見直し、利用者や家族等の確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録の記入により、日々の様子を職員間で共有できる。また、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	行動変化を察知し状況に応じたサービスの提供が行えるよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの活動受け入れにより、入居者様の豊かな生活が出来る様支援しています。散歩時にも、優しい声掛け等頂き、安全な生活が出来ます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の提携医療機関の往診により、健康管理をしています。また、家族対応にてかかりつけ医の受診をする入居者もいます。受診の前後にご家族様と情報交換を行い、記録しています。	利用者や家族等が希望する医療機関での受診を支援しており、協力医療機関の医師をかかりつけ医とする場合は月2回の訪問診療を支援している。 協力医療機関以外の医師をかかりつけ医とする場合は家族等の付き添いを基本とし、受診の際は利用者の個人記録を家族等に渡して適切な受診ができるよう支援するとともに、受診後は家族等と情報交換を行い結果を記録している。 緊急の受診は家族等に報告してから職員が同行し、結果を家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと連携して情報交換を行う事で入居者様の健康管理に努めています。また、急変時に指示を仰ぐ事出来る為、安心して過ごせます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際にはサマリーを作成し、医療機関へ報告しています。入院中も病院と連携し早期退院が出来る様にしている。また、退院後の注意点などの指導も受けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様へは、体調変化時は速やかに状況等を説明しており、病院と連携しながらご本人の希望に添えるように対応しております。又、終末期に関する説明は、医師、ご家族様、職員話し合いを行っております。	重度化や終末期ケアに向けた事業所の対応指針と同意書を作成し、契約時に利用者と家族等に説明しているが、書面で同意を得るまでには至っていない。 看取りに関する職員の研修を実施しているが、事業所として看取りをどこまでできるか現在見直しており、マニュアルを作成するまでには至っていない。	事業所でできることとできないことを話し合い、重度化や終末期に向けた事業所の対応指針を作成し、利用者や家族等に説明して書面で同意を得るほか、マニュアルを作成して職員研修を行い、職員や医療関係者、法人事務局で連携を図り支援に取り組むことを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応と致しまして、往診時に医師や看護師に指示を仰いでおります。突発的な、事故等にも対応できるように、勉強会の参加により俊敏な行動が出来る様努めたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼間・夜間を想定した避難訓練を毎月実施しています。また、月に2回、災害伝言ダイヤルの練習を行っています。	消防署立会いのもと総合訓練を年2回実施している。 消火訓練のほか夜間や地震を想定した避難訓練、救急救命訓練など事業所独自の防災訓練を毎月実施し、訓練後は職員で話し合って反省点と課題を記録に残すとともに次回の訓練に活かしている。 昨年は自治会に消火訓練のチラシを渡したが近隣住民の参加が得られなかったため、今年は戸別にチラシを配布し参加が得られるよう計画を立てている。 1階のスタッフルームに、利用者の嚔下機能に配慮して瓶詰めのベビーフードを備蓄しているほか、米やインスタント食品、飲料水などを3日分備蓄するとともに衛生用品は常に多く在庫を持つようにしたり、生活用水はペットボトルで保管している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩として、敬う気持ちを大切にし、言葉遣いに十分に注意し、誇りやプライバシーを損ねないように努めている。	管理者や職員は利用者を尊敬し、利用者に対する呼び方や言葉遣いに配慮し、一人ひとりの尊厳を大切にしながら対応している。 プライバシー保護に関する勉強会を実施したり接遇研修を実施し、利用者や家族等に適切な対応ができるよう努めている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚で鍵をかけて保管し、情報漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思疎通が図れる入居者様は、自己決定していただくように支援していますが、自己決定が難しい、入居者様は、表情を見ながら対応しております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	急を要する場合はお話をさせて頂き、優先順位の元にその入居者様に合った支援の実施をしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の整容時に声掛けをし、身だしなみの整える支援をしています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と職員と一緒に同じ食事を採ることで会話を楽しみながら食事の時間を過ごせる。また、出来る入居者様には準備や後片付けをお願いする事もあります。	主食と味噌汁を職員が作り、副食は専門業者より納入されている。 利用者はできる範囲で下膳をしている。 利用者の希望にそった行事食を取り入れたり、利用者が食べられない献立の場合は1人分別献立を提供するなど、食事が楽しみとなるよう支援している。 生ものの提供がないため、利用者の誕生日には職員と一緒に寿司を食べに行くなど、利用者の希望にそった外食の支援をしている。 職員は利用者と同じテーブルで同じ食事を摂りながら利用者の嚥下機能に合わせて介助し、談話しながら楽しく食事ができるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	委託業者より栄養バランス考慮した献立が届きます。また、水分摂取量を測るように主治医より指示が出ている入居者様に関しては、個別に水分摂取表を記入しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアは行っています。入居者様の口腔内の状況や力量に合わせて、必要に応じた介助を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを理解し、その人に合った支援をしています。トイレ誘導の声掛けを早めにする事で、排泄の心配が少なくなり、自立に向けた支援を行っています。	職員は排泄チェック表を活用し利用者の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるよう支援している。 職員はトイレでの排泄や排泄の自立に向けて適切な支援をしており、入居時紙パンツとパッドを使用していた利用者が布パンツ使用に改善するなどしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な水分量の摂取を促し、軽い運動の誘いを心掛け、必要な場合は腹部マッサージを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	さっぱりとした気持ちの良い事と思って頂く様、入浴前の声掛けを工夫しています。	入浴は原則2日おきとなっているが、利用者の希望や状況に応じて毎日、いつでも入浴ができるよう支援している。 利用者が入浴を拒む場合は声かけする時間帯や職員を替えるなどで入浴ができるよう支援している。 利用者の状態に合わせた入浴支援ができるよう、機械浴槽を設置している。 柚子湯や菖蒲湯など季節感を取り入れた入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	きれいな寝具で休んで頂く様定期的にリネンを交換したり布団を干したりしています。眠れない入居者様には話を傾聴対応をしたりしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者様の定時薬について、その薬効を理解し、服用後の様子観察をし体調の変化が起きていないか把握するように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	力量によりお手伝いをして頂いたり、歌や体操のレクリエーションの参加や他のフロアに交流をすることで気分転換をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気が良い日には散歩やドライブに出掛け、外出する機会を作り楽しんで頂いています。	利用者は職員と一緒に日常的に散歩をしている。職員は利用者一人ひとりの希望にそった買い物や外出支援をしている。 初詣のほか花木センターやホームセンターで魚や動物を見物して楽しんだり、地域の人々と交流ができるよう毎月の外出を工夫している。 職員が同行できない場所は、利用者の思いを家族等に伝え、家族等と一緒に外出ができるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金を入居者が管理する事はありませんが、手元にお金が無い事で不安になられる入居者様に対しては、ご家族様の了解を得て所持される場合もあります。	/	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る限り希望に応える様に努めていますが、ご家族様との関係性もある為、日にちを決めさせて電話を掛ける場合もあります。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度調節はマメに行っています。また、季節を感じる為に、壁面を利用して飾り付けをしたり、花を生けたりと工夫しています。	共用空間は広く清潔に保たれており、大きな窓からの陽光はカーテンで調節し、居心地よい場所となっている。 居間には腰かけられる高さに造られた畳敷きの空間があり、利用者が洗濯物をたたんだり寛げる場所となっている。 各ユニットの玄関や廊下、居間に観葉植物を飾ったり、小魚が入った水槽を置いているほか、壁面には行事を楽しむ利用者の写真を掲示して季節感を取り入れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に行動して頂き、入居者様と会話も出来る様に席の移動もしております。楽しい話題提供もしています。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた物やご家族様に写真など思い出のある物をお持ち頂き、今までと同じような環境で生活して頂けるようにご家族様にお話をしています。	居室にはクローゼットやベッド、整理箆筒、エアコンが設置されている。 利用者は居室に使い慣れた椅子やテレビ、時計、家族の写真、人形などを持ち込んでいる。 利用者は観葉植物を居室で育てたり雑誌や新聞を置き、居心地よく過ごせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様自身の出来る事・分かる事を把握し見守りを行い、安全で安心した生活が送れるように支援しています。	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム メロン

作成日 平成24年10月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束に関する、経過観察や検討記録を準備しておく。	経過観察及び検討記録の用紙を作成する。	経過観察および検討記録用紙作成。	完了
2	6	運営に関する利用者、家族会議等意見の反映	家族アンケートを実施する。	家族へ請求書等を郵送する際に、家族アンケートを実施し、利用者や家族の意見を反映させる。	12ヶ月
3	9	思いや意向の把握	利用者の状態を全職員が把握できるように、個人記録にラインを入れて、状況の把握をする。	個人記録に、ラインを引いて分かりやすくし、全職員が状態を把握する。	6ヶ月
4	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	事業所での看取り介護について家族に説明する。又、看取り介護についての研修会を行い、医療関係者とも連携を図る。	看取り介護について、家族に説明を行い同意を得る。看取り介護の研修会を行い、医療関係者と連携を図る。研修を行い、職員の看取り介護についての不安を解消する。	12ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。